



こうの みちせい
河野通勢

すそながわふうけい
《裾花川風景》 1914年 油彩・キャンバス 45.4×60.8cm

夏の盛りの田園の風景。青々と茂った草むら、もくもくと立ち上がった入道雲。ここは作家の生まれ育った長野の郊外です。作家は信心深い青年でした。一本の木や草に生命の神秘を感じる人でした。そうした思いが、草や木々の入念な描写となって表現されています。画面の隅に描かれる一本の草にしても、実に丁寧に描かれていることが分かるでしょう。絵の右上に小さく描きこまれた人物は、果たして何をしているのでしょうか。

1895年 長野に生まれる。

1904年 長野ハリストス正教会で洗礼を受ける。

1918年 第6回草土社展出品。

1923年 春陽会出品。

1929年 国画会会員となる。

油彩の他、小説の挿絵を多数手がけた。

1950年 東京で没。享年 55。